



## 英語のジョーク宅配便

Vol. 65 June 27, 2011

### OUR MISSION STATEMENT

「人を知る最善の方法は、苦しい仕事を一緒にすることと、ジョークを言うこと」と言います。これを「英語で発信」というのが本紙の使命で、受動から能動への一歩です。

「英語のジョークを楽しむ会」が活動領域をさらに広げようという試みです。

地球の一体化が益々進む時代、「英語でジョークを」は、新しい意義を加えるでしょう。

英語のジョークを楽しむ会 代表・宮本倫好

- 本紙は、原則として、毎週月曜日に配信します。
- 執筆者は右の五名の本会会員です。相原悦夫、安藤雅彦、岡田茂富、土屋政雄、豊田一男

□ ■ **本日のお届け品**： 古き良き時代（その2）



Two friends were riding a bus when one noticed that the other had his eyes closed.

“What’s the matter, Mike?” he asked. “Don’t you feel well?”

“Oh, I feel fine,” replied Mike. “It’s just that I can’t bear to see women standing.”

#### 【語句と和訳】

- ・ can’t bear to *do* 「～するのを我慢できない」

二人の友人がバスに乗っていると、一人が相手が目を閉じているのに気づいた。「どうしたんだ、マイク」と彼は尋ねた。「具合が良くないのか」「具合はいいよ」とマイクは答えた。「ただ女の人立っているのを見るのに堪えられないんだ」

#### 【笑いのツボ】

昔は車内で寝た振りをして座っていると良心が痛んだのです。

- 今回の担当は、豊田一男でした。